

第64回 しずくない農業協同組合通常総会開催

全4議案原案通り可決される

4月10日、新ひだか町公民館において「第64回 しずくない農業協同組合通常総会」が開催されました。



冒頭挨拶において、片岡禹雄代表理事組合長より、「国内農業においては、戸別所得補償制度、第6次産業化の推進など、目まぐるしく農業政策が変わる中、昨年11月に野田首相は、TPP交渉参加への協議に入ることを表明いたしました。十分な国民的な議論もなされず、見切り発車されたことに憤りを感じるところであります。世界の人口が急激に

増加している中であつて、生命の源である食料を他国に委ねることは言語道断と言わざるを得ません。

更に、医療・金融など様々な分野への影響が計り知れず、農業だけの問題ではなく、「この国のかたち」の行く先が憂慮される事態であります。経済成長と引き替えに国民生活の安全・安心が損なわれることは断じて許されるものではありません。

今後TPP交渉参加を断固阻止するため、JA北海道グループの一員として強力な運動を続けて参ります。当JAにおける昨年度の農畜産物の取り扱いについては、16億3600万円の計画に対し、2億2200円増の18億5800万円となりました。

そ菜全般においては、震災、猛暑の影響により、品薄が続ぎ、高値取引となりました。特に、主力のミニトマトにおいては、過去最高の7億2300万円となりました。生産者の長年にわたる品質向上と安定供給への取り組みが実を結んだものと敬意を表するところであります。

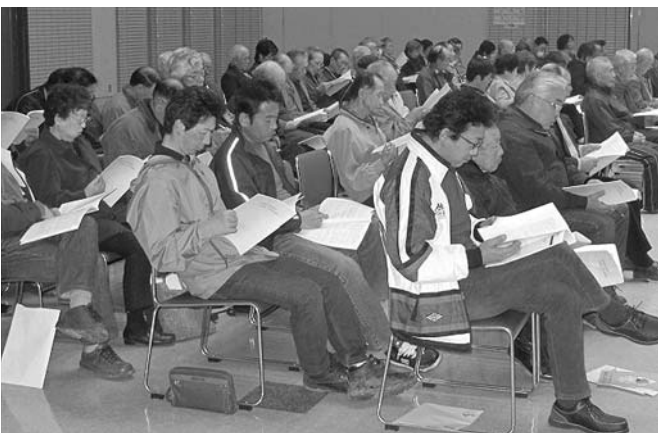
また、複合作目として奨励してきた黒毛和牛は、震災の影響から、販

売価格は一時下落いたしました。販売頭数の増加により、前年比7900万円増の4億1300万円となりました。市場での高い評価は、生産者の積極的な取り組みと関係機関のご協力の賜物と深く敬意を表すとともに、今後とも複合作目として黒毛和牛の推進に取り組んで参ります。

ホッカイドウ競馬は、昨年80日間の開催を終え、販売額は計画対比102.7%の115億7100万円となりました。競馬を取り巻く環境が極めて厳しい中、Aiba祭の開催など関係機関・団体の特段のご協力、ご支援の賜物であり、深く感謝を申し上げる次第であります。日高の幹幹産業である軽種馬産業にとりましてホッカイドウ競馬の安定的な開催は不可欠であります。本年度のホッカイドウ競馬は4月25日より開催されます。昨年同様にご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

農業担い手対策については、行政と手を携え取り組んでおります新規就農対策事業により、本年度、ご夫婦1組と単身者1名を受け入れ、農家での研修を始めたところであり、農業担い手確保の第一歩として大きく期待を寄せているところでありますので、組合員皆様の温かいご支援を切にお願い申し上げます。

JA事業については、円高、デフレ経済による収益率の低下、投資意欲の減退による取扱高の減少などの影響を大きく受け、各事業とも部門収益の確保に苦戦いたしました。事業管理費をはじめとした経費抑制・節減により、未処分剰余金3056万円を提案することができました。組合員各位には、厳しい農業経営の中、JA事業をご利用、ご協力いただいた結果であり、感謝とお礼を申し上げます。



また、健全性を示す自己資本比率は、前年対比0.09%増加し、10.52%となりましたが、健全な